

2026年度 町田市立本町田ひなた小学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和8年3月31日

<p>学校教育目標 「主体的に探究し、創造する子ども」</p> <p>○魅せる 全力の姿(自己理解・自己管理能力) ○挑める 仲間(人間関係形成・社会形成能力) ○繋ぐ 心(課題対応能力)○キャリアプランニング能力</p> <p>○目指す学校像……①一人一人の主体性と自律性をほぐす学校 ②一人一人の子供の自己有用感と自己肯定感を高める学校</p> <p>○目指す児童・生徒像……①協働して課題を主体的・対話的に解決し、新たな学びに活用していく子供 ②自ら活動を創造し、生活を充実させる実践力のある子供 ③学年を超えて協働的活動を充実させていく創造力のある子供</p> <p>○目指す教師像……①主体的・対話的で深い学びの実現を協働的に目指す教師 ②教科等横断的な授業を創造する教師 ③学び合う教育集団としての教師</p>	<p>学校経営の重点 町田市教育プラン24-28に基づき、異学年交流をはじめとした児童の自治的・主体的な活動及びウェルビーイングを目指した授業を推進し、授業改善研修において各児童の進度に即した教科等横断的な単元の開発と個別最適な学びと「協働的な学び」の一体的な指導を実施する。また、コミュニケーションとして共通目標の成果と課題</p>
---	---

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○ %	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	<p>地域の環境及び人材を生かした体験的活動を企画・実施し、児童の学びを豊かにする。</p> <p>学校ホームページや学校行事など、積極的に情報発信と公開に努め、教育活動への理解を広げる。</p> <p>教員の働き方改革を推進する。</p>	<p>4 年間指導計画で計画した活動の90%以上を実施</p> <p>3 年間指導計画で計画した活動の80%以上を実施</p> <p>2 年間指導計画で計画した活動の70%以上を実施</p> <p>1 年間指導計画で計画した活動の70%未満の実施</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>						
				<p>コミュニケーションとして、保護者、地区委員会、及び地域に本校の教育活動を周知していく。</p> <p>副校長補佐及びスクールサポートスタッフを活用し、学校だより・ホームページの更新など、児童の学びの様子などを発信する。</p> <p>学校行事をはじめとして、学校ならではの多様な教育活動を公開していく。</p>	<p>1 必要情報の90%以上を周知</p> <p>2 必要情報の80%以上を周知</p> <p>3 必要情報の70%以上を周知</p> <p>1 必要情報の70%未満の周知</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>					
				<p>勤務時刻をバスの時刻表に合わせ午前8時から午後4時半にすることにより、時間外勤務時間を短縮する。</p> <p>一年を通じて年次有給休暇を取得しやすい環境をつくり、全教員の年次有給休暇を有効に活用する。</p>	<p>1 毎月3回以上の発信</p> <p>2 毎月2回以上の発信</p> <p>3 1年間6回以上の発信</p> <p>4 年間5回以上の発信</p> <p>1 年間4回未満の実施</p> <p>1 1人当たりの月平均時間外在職時間30時間以下の割合 90%以上</p> <p>2 1人当たりの月平均時間外在職時間30時間以下の割合 90%以上</p> <p>3 1人当たりの月平均時間外在職時間30時間以下の割合 90%以上</p> <p>4 1人当たりの月平均時間外在職時間30時間以下の割合 90%以上</p> <p>1 1人当たりの年間年次有給休暇を平均15日以上取得 90%以上</p> <p>2 1人当たりの年間年次有給休暇を平均15日以上取得 80%以上</p> <p>3 1人当たりの年間年次有給休暇を平均15日以上取得 70%以上</p> <p>4 1人当たりの年間年次有給休暇を平均15日以上取得 70%未満</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>					
確かな学力の育成	子どもが主体的に学び、教師が深く授業研究を遂げ、主体的・対話的で深い学びを実現すること、基礎的・本能的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等とともに学び続ける力の育成を図る。	<p>主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童が聴き合う授業の確立を目指す。</p> <p>対話をはじめ、自らの考えを多様な方法で表現させ、協働的な学びの授業を展開する。</p> <p>学習した内容が、日々の生活や社会・地域につながっていることを児童に実感させ、主体的に学ぶ児童を育てる。</p>	<p>4 90%以上の授業で実施して指導</p> <p>3 80%以上の授業で実施して指導</p> <p>2 70%以上の授業で実施して指導</p> <p>1 70%未満の授業で実施して指導</p>			<p>A 80%以上の児童が実習</p> <p>B 70%以上の児童が実習</p> <p>C 55%以上の児童が実習</p> <p>D 55%未満の児童が実習</p>							
			<p>4 90%以上の授業で実施</p> <p>3 80%以上の授業で実施</p> <p>2 70%以上の授業で実施</p> <p>1 70%未満の授業で実施</p>			<p>A 80%以上の児童が実習</p> <p>B 70%以上の児童が実習</p> <p>C 55%以上の児童が実習</p> <p>D 55%未満の児童が実習</p>							
			<p>4 年間6回以上の授業場面で実施</p> <p>3 年間5回以上の授業場面で実施</p> <p>2 年間4回以上の授業場面で実施</p> <p>1 年間4回未満の授業場面で実施</p>			<p>A 80%以上の児童がICT機器を活用</p> <p>B 70%以上の児童がICT機器を活用</p> <p>C 55%以上の児童がICT機器を活用</p> <p>D 55%未満の児童がICT機器を活用</p>							
豊かな心・多様な尊重し、自分と共に関心・意欲・態度を育てる。	<p>道徳の授業を中心に、生命を大切にすることや他人を思いやる心、規範意識など道徳的実践力をはぐくむ。</p> <p>自己の自己有用感と自己肯定感を高め、人とのかわりを通して自他ともに大切にし、異学年の児童を敬い慈しむ態度を養う。</p>	<p>道徳の授業を要し、道徳的実践力を育成するとともに、実践を称賛する場面を設ける。</p> <p>異学年交流活動、委員会活動、係活動など、児童の自治的な活動を推進する。</p> <p>交通安全防止、不審者対応、ネットマナーなど安全意識の醸成を図る。</p>	<p>4 人権を尊重する指導を月に1回実施する</p> <p>3 人権を尊重する指導を学期に1回実施する</p> <p>2 人権を尊重する指導を学期に1回未満の実施</p> <p>1 人権を尊重する指導を月に1回未満の実施</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>							
			<p>4 月に1回以上、秋葉の場を設ける</p> <p>3 月に1回以上、秋葉の場を設ける</p> <p>2 学期に1回以上、秋葉の場を設ける</p> <p>1 学期に1回未満の秋葉の場</p>			<p>A 児童の満足度80%以上</p> <p>B 児童の満足度70%以上</p> <p>C 児童の満足度55%以上</p> <p>D 児童の満足度55%未満</p>							
			<p>4 雨天時以外、90%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>3 雨天時以外、80%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>2 雨天時以外、70%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>1 雨天時以外、70%未満の指導場面で外遊びを奨励する</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>							
健やかな心・正しい生活習慣を身に付けさせる。丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。	<p>運動の日常化と健康教育の充実を図り、基礎体力の向上と望ましい生活習慣の定着を図る。</p> <p>安全な環境を整備し、自己及び他者の命や心身を守る力を育成する。</p>	<p>特別支援学級児童との交流を推進し、共生の取組を育成する。</p> <p>生活指導夕会において問題や課題を共有し解決を図るとともに、必要に応じて専門機関とも連携する。</p>	<p>4 雨天時以外、90%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>3 雨天時以外、80%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>2 雨天時以外、70%以上の指導場面で外遊びを奨励する</p> <p>1 雨天時以外、70%未満の指導場面で外遊びを奨励する</p>			<p>A 学校評価アンケート肯定的評価80%以上</p> <p>B 学校評価アンケート肯定的評価70%以上</p> <p>C 学校評価アンケート肯定的評価55%以上</p> <p>D 学校評価アンケート肯定的評価55%未満</p>							
			<p>4 年間10回以上の家庭向けに啓発文書を送行</p> <p>3 年間9回以上の家庭向けに啓発文書を送行</p> <p>2 年間8回以上の家庭向けに啓発文書を送行</p> <p>1 年間7回以上の家庭向けに啓発文書を送行</p>			<p>A 児童の満足度80%以上</p> <p>B 児童の満足度70%以上</p> <p>C 児童の満足度55%以上</p> <p>D 児童の満足度55%未満</p>							
			<p>4 必要情報の90%以上を共有</p> <p>3 必要情報の80%以上を共有</p> <p>2 必要情報の70%以上を共有</p> <p>1 必要情報の70%未満を共有</p>			<p>A 児童の満足度80%以上</p> <p>B 児童の満足度70%以上</p> <p>C 児童の満足度55%以上</p> <p>D 児童の満足度55%未満</p>							

<p>取組指標の平均 3.5以上 ⇒ 評価A</p> <p>取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B</p> <p>取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C</p> <p>取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D</p>	<p>成果指標評価基準</p> <p>成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A</p> <p>成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B</p> <p>成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C</p> <p>成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D</p>	<p>学校関係者評価の評価基準例</p> <p>A ⇒ 取組・成果ともに十分評価できる</p> <p>B ⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい</p> <p>C ⇒ 目標達成には至らなかったため、次年度の改善が必要</p> <p>D ⇒ 重要な課題があるため、次年度、重点的に改善</p>
--	---	---

※ 学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。